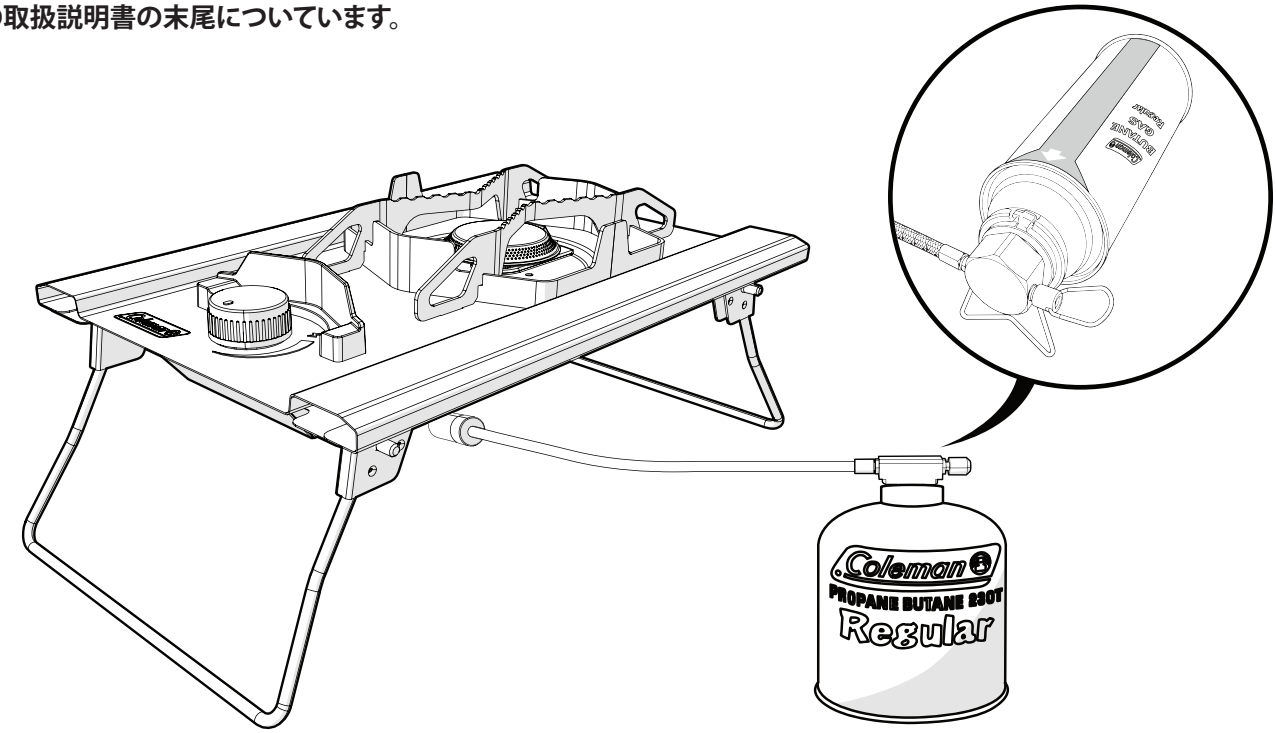
デュアルガスバーナーストーブ

取扱説明書

保証書付

保証書は、この取扱説明書の末尾についています。



もくじ

警告 …… 1, 2
注意 …… 3, 4
セット内容・パーツリスト …… 5
各部の名称 …… 5
ご使用の手順とご注意
[点火の準備] …… 6
[ストーブの組み立て] …… 7
[点火の方法] …… 7
[火力の調節と消火] …… 7
[収納] …… 8
日常の点検・お手入れの方法 …… 9
故障・異常の見分け方と処理の方法 …… 9
仕様・保証書 …… 10

このたびは、デュアルガスバーナーストーブをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しい方法でご使用ください。
お読みになった後も、この取扱説明書及び保証書を大切に保管してください。
修理・補償を受ける際に必要になります。

※改良のため仕様および外観を予告なく変更することがあります。

製品を正しくお使いいただくため及び、ご自身や他の人々への危害、財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書および製品では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	**この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。**
⚠注意	**この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。**

絵表示について次のような意味があります。

一般的な禁止　一般的な注意　必ず行う　接触禁止　火気禁止

※改良のため仕様および外観を予告なく変更することがあります。

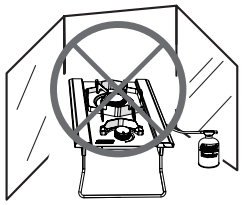
⚠警告　安全のために必ずお守りください。

ガスカートリッジ（容器）の取扱いについて

1.以下のような使い方は厳禁!ガスカートリッジ（容器）が過熱し爆発の原因となります。

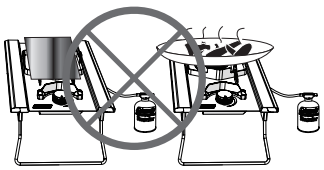
● 風防、鉄板や岩などで囲うような使用。

禁止



● 炭の火起こし、スモーカーの熱源、セラミック・溶岩等の熱を蓄える恐れのある鉄板等の使用。

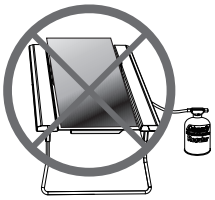
禁止



セラミック・溶岩などの鉄板　炭の火起こし

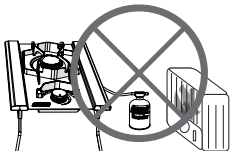
● グレート（ごとく）より大きな鉄板・鍋等バーナーを覆ってしまう物の使用。

禁止



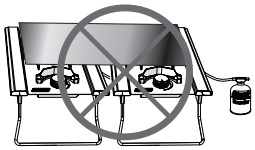
● 他の燃焼器具のそばでの使用。

禁止



● バーナーを2台以上ならべての使用、他のこんろ・火気・焚火のそばでの使用。

禁止

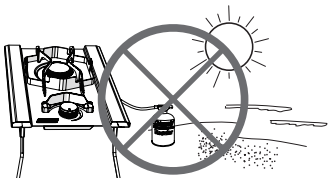


● 調理以外での目的での使用。

禁止

● 夏の砂浜など日光によってガスカートリッジ（容器）が過熱するような場所での使用。

禁止



● ダッチオーブンのカラヤキ。

禁止



● その他、ガスカートリッジ（容器）が過熱するような行為。

禁止

2.ガスカートリッジ（容器）は熱気のあたる所に放置しないでください。

● ガスカートリッジ（容器）はファンヒーターの前など熱気のあたる場所に放置しないでください。熱で容器の圧力が上がり爆発の原因となります。

禁止



⚠警告　安全のために必ずお守りください。

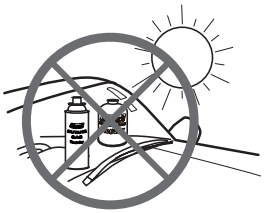
3.ガスカートリッジ（容器）を火中に投じないでください。熱で容器の圧力が上がり爆発の原因となります。

禁止



4.ガスカートリッジ（容器）は火気の近くや直射日光（室内や車内の窓際など）の当たる場所等40℃以上になる場所に放置しないでください。熱で容器の圧力が上がり爆発の原因となります。

禁止



5. ガスカートリッジ（容器）は風通しの良い湿気の少ない40℃以下の場所に容器キャップをはめて保管してください。また器具使用後は必ずガスカートリッジ（容器）を取り外して別々に保管してください。

必ず行う

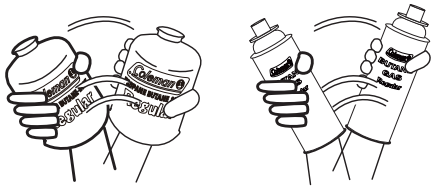
6.使用済みガスカートリッジ（容器）の処理について
使用済みガスカートリッジ（容器）は、キャンプ場などに放置せずに必ず持ち帰り、下記の要領に従って処分してください。

- ガスカートリッジ（容器）は完全に使い終わってから、各自治体の指示に従って捨ててください。

必ず行う

- ガスカートリッジ（容器）にまだガスが残っている場合は、使い切ってから捨ててください。ガスカートリッジ（容器）を振ってサラサラと音のする場合には、まだガスが残っています。そのまま温度の高い所に放置したり、火中に投入すると爆発し危険です。

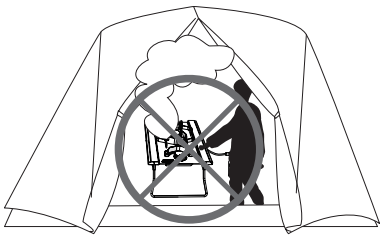
必ず行う



使用場所の注意

1.屋外専用です。使用中は多量の酸素を消費しますので、窒息や中毒を起こす恐れがあります。その為、家の中、テントの中、車の中もしくは換気の不十分な場所では絶対に使用しないでください。**一酸化炭素（CO）中毒により、最悪の場合には、死亡事故につながります。**

禁止

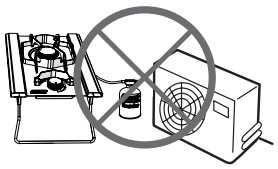


2.使用中は多量の酸素を消費します。換気には十分注意してください。

禁止

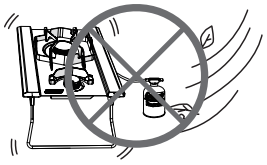
3.エアコンの室外機付近では使用しないでください。燃焼の妨げになります。

禁止



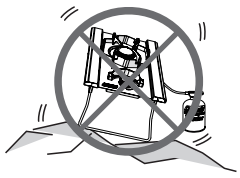
4.風の強い場所での使用は避けてください。風で火が吹き消されることがあり、危険です。

禁止



5.設置面が安定していて水平な場所に置いてご使用ください。斜めに置くとバーナーが倒れる恐れがあります。

禁止



⚠注意　安全のために必ずお守りください。

ガスカートリッジ（容器）の取扱いについて

1.ガスカートリッジが（容器）に表示してある注意事項を良く読んでからご使用ください。

必ず行う

- 保管してあるガスカートリッジ（容器）は時々点検して、さびが発生している場合にはできるだけ早く使用してください。

必ず行う

- ガスカートリッジ（容器）にLPガスの再充填はできません。

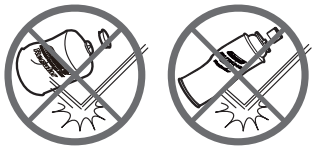
禁止

2.ガスカートリッジ（容器）のガスを故意に吸い込むことは禁止。酸欠の原因となります。

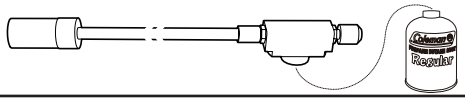
禁止

3.ガスカートリッジ（容器）に、強い衝撃を与えないでください。変形するとグリルにセットできなかったりガス漏れの原因となります。

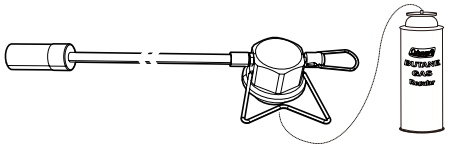
禁止



ガスカートリッジ（容器）はコールマン純正LPガス燃料230g/470gをご使用ください。



ガスカートリッジ（容器）はコールマン純正LPカセットガス燃料250gをご使用ください。



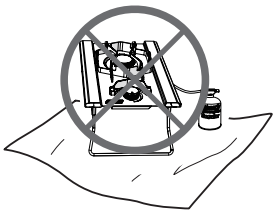
コールマン製品ではガス燃焼器具とガスカートリッジ（容器）を一体にした状態で設計、品質管理を行っています。性能・安全を維持する為にも、コールマン純正LPガス専用カートリッジ（容器）をご使用ください。

必ず行う

火災予防の注意

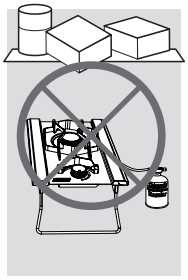
1.グリルの下に段ボール紙など燃えやすいものや熱に弱いもの（ビニールクロス）を敷いたり通気の妨げになるものを置かないでください。火災の原因となります。

禁止



2.上から物が落ちる恐れのある場所等で使用しないでください。火災の原因となります。

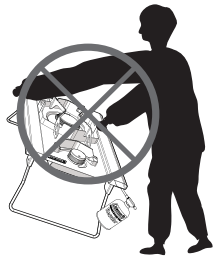
禁止



物が落ちる恐れのある場所

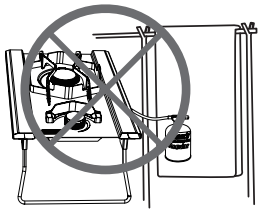
3.点灯したままの持ち運びは禁止。転倒すると火傷や火災の原因となります。

禁止



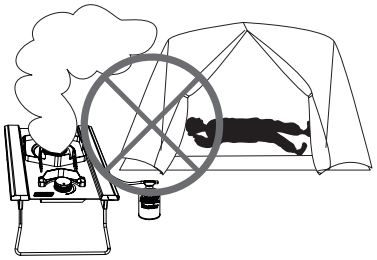
4.燃えやすい物から上部1.2m, 周囲は50cm以上離してご使用ください。特にテント、スリーピングバッグ、干してある洋服等の近くでは使用しないでください。

禁止



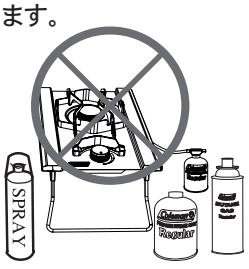
5.火をつけたまま器具の使用場所を離れたりしないでください。火災など思わぬ事故の原因となります。

禁止



6.グリルを使用中、近くに予備のガスカートリッジ（容器）や他のスプレー缶などを放置しないでください。熱でスプレー缶等の圧力が上がり爆発の原因となります。

禁止



7.他のスプレー缶など、引火の恐れのあるものを近くで使用しないでください。火災の原因となります。

禁止

⚠ 注意　安全のために必ずお守りください。

ガス事故防止

1.ガスカートリッジ（容器）がセットされていて、着火していないのに器具栓ツマミが〈OFF〉以外の位置にあると、ガス漏れを起こし危険です。十分にご注意ください。

⚠ 注意

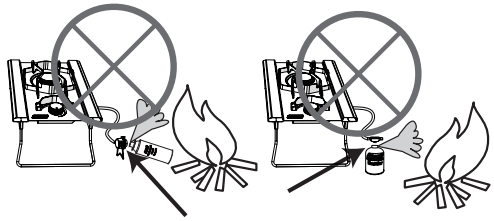
2.ガスカートリッジ（容器）は正しく装着してください。

- ガスカートリッジ（容器）を正しく装着しないと、ガスが漏れて火災の原因となります。詳しくは7ページ「点火の準備」を確認してください。

必ず行う

- ガスカートリッジ（容器）の取り付け、取り外しの際には少量のガスが漏れます。周囲に使用中の燃焼器具や火の気がないことを確認してから行ってください。

禁止



3.使用中、玉ねぎの腐ったようなにおいがしたら、ガス漏れを起こしています。すぐに換気を十分にしてください。LPガスは比重が重く下部にたまります。ガス漏れに気付いたときは、絶対に火をつけたり電気製品のスイッチを入れたり、火気の使用をしないでください。引火による爆発の恐れがあります。

- 使用をやめガスカートリッジ（容器）をはずしてください。

火気禁止

4.使用時の点火・使用後の消火のほか、使用中もときどき、正常に燃焼していることを確認してください。使用中は器具から目を離さないでください。

必ず行う

使用上の注意

1. この器具は屋外専用調理器具です。調理以外の用途には使用しないでください。過熱・異常燃焼などによる焼損や火災などの危険があります。

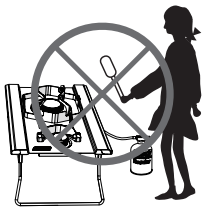
禁止

2. 使用中や使用直後はバーナー・グレート（ごとく）等は高温になっておりますので、手を触れないでください。火傷の原因となります。後片付けをする場合は、器具が完全に冷えてから行ってください。

接触禁止

3. 使用の際は特にお子様にご注意してください。お子様がバーナーを使用するのは絶対に止めてください。器具を保管する場合も幼児・子ども等の手の届かない所に保管してください。

接触禁止



4. 点火するときは炎があがります。バーナーの上におおいかぶさらないようにしてください。

接触禁止

5. 万一異常音、ガス臭、赤火など起こしたときや緊急の場合は、あわてず器具栓ツマミを〇マークの方向に回して消火し、ガスカートリッジ（容器）を本体から取り外してください。

必ず行う

6. バーナーを改造して使用しないでください。

禁止

7. 補助具はこの器具専用の付属品あるいはコールマン社指定のもの以外は使用しないでください。思わぬ事故の原因となります。

必ず行う

8.「故障・異常の見分け方と処理の方法」9ページを参照し指示に従ってください。

必ず行う

9. 収納はグリルが完全に冷えてから行ってください。

必ず行う

10. ハイスタンド等に乗せて使用する時はしっかり固定されていることを確認してください。落下しますと思わぬ事故の原因となります。風や振動に注意してください。

⚠ 注意

11. 使用後はその都度、取扱説明書に従って点検・お手入れを行ってください。

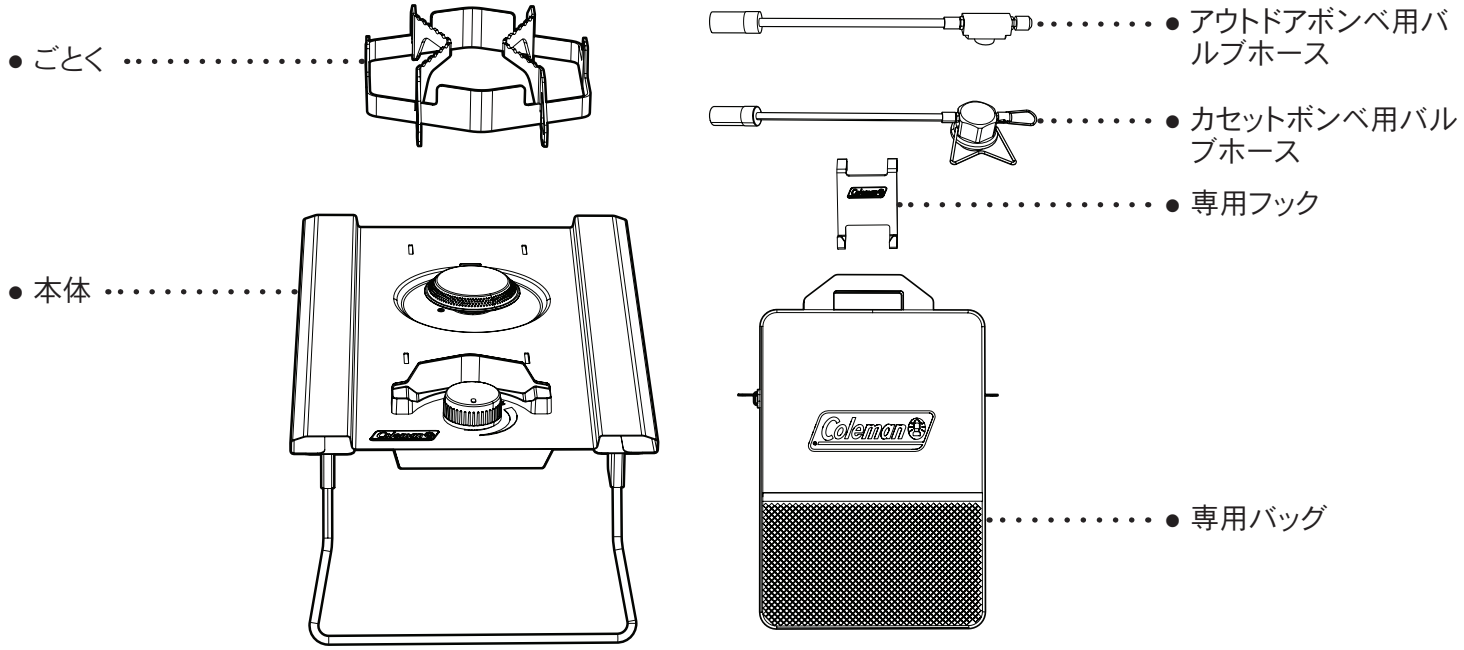
必ず行う

12. こんろ上で使用する調理器具及びその内容物の合計は6kgを超えないようにしてください。また、26cmを超える調理器具はご使用にならないでください。

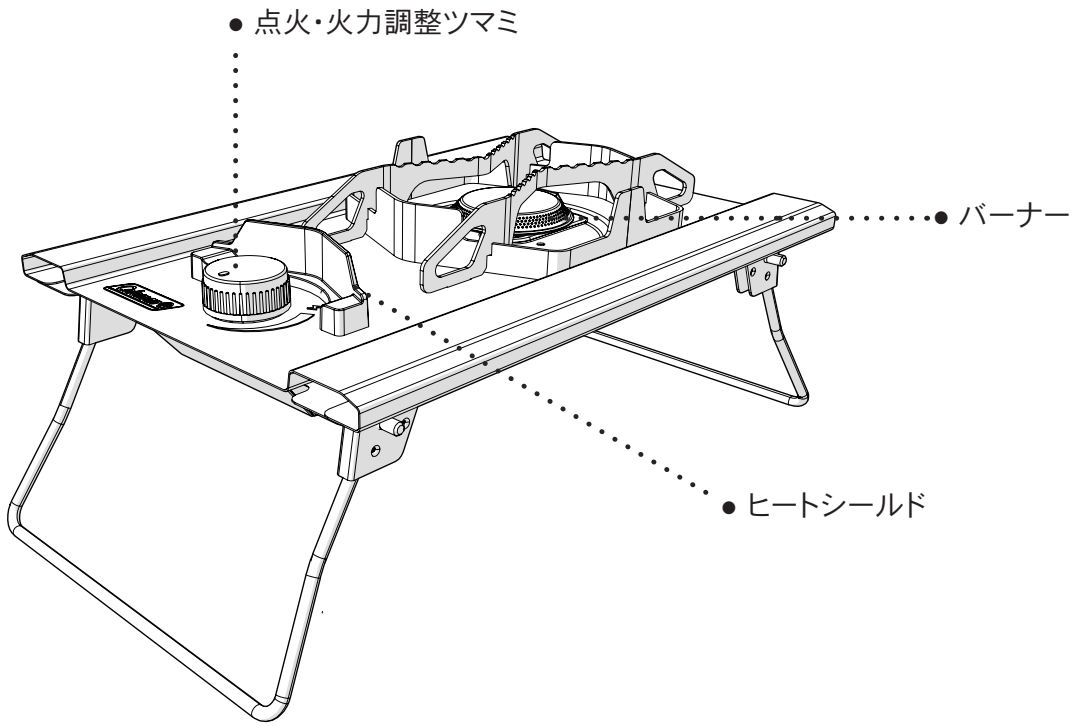
必ず行う

セット内容・パーツリスト

お使いになる前に一度、パーツ等の不足がないかご確認ください。



各部の名称



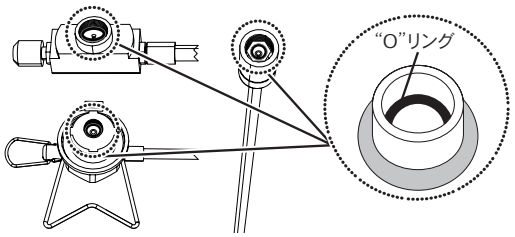
ご使用の手順とご注意

点火の準備

❗屋外の火の気のない所で行ってください。

ガスカートリッジ（容器）はコールマン純正LPガス燃料230g/470gをご使用ください。またはコールマン純正250gカセットガスボンベをご使用ください。

1.本体下部のガスカートリッジ接合部 にある“O”リングに損傷がないこと を確認します。

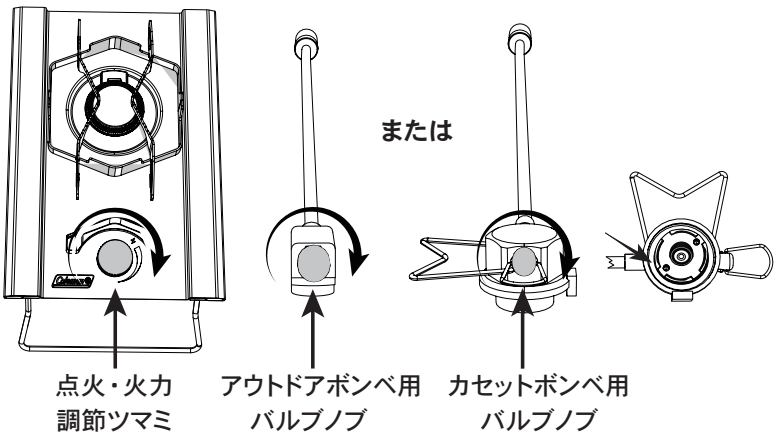


⚠ 注意

- “O”リングに異常（亀裂、破損、硬化 、縮み 、未装着等）がある場合は、お買い求めの販売店にて交換・修理を依頼してください。



2.バルブノブを右に止まるまで回し、バルブが完全に閉じていることを確認します。CB缶バルブの爪部分も正しい位置にある事を確認してください。

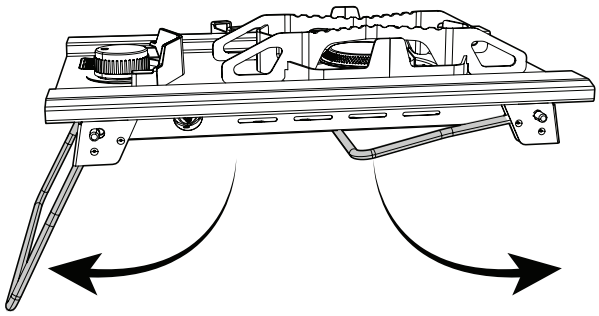


⚠ 注意

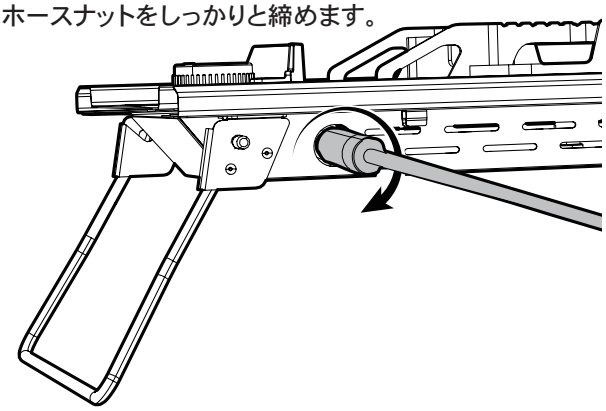
- ガスカートリッジ（容器）を取り付ける際は、無理矢理押し込んだり、斜めに押し込んだりすると接合部を損傷する恐れがあります。
- ガスカートリッジ（容器）を斜めに傾けて取り付けると液状のガスが噴出して危険です。必ずガスカートリッジ（容器）を水平にして取り付けてください。
- ガスカートリッジ（容器）取り付け時、若干のガスが漏れますので、必ず周囲に火気がないことを確認してください。
- ガスカートリッジ（容器）のふたは捨てずに保管してください。ガスを使い切らなかった場合、保管につかいます。
- ガスカートリッジ（容器）がスムーズに回らないときは、正しくセットされていません。もう一度セットし直してください。

ストーブの組み立て

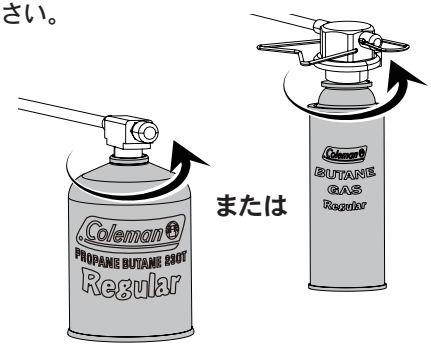
1.箱から本体を出し、パーツがすべてそろっているか確認してから、本体の裏側に収納されている左右のスタンド（脚）を引き起こします。



2.バルブホースを奥までしっかりと差し込んでいる事を確認し、ホースナットをしっかりと締めます。



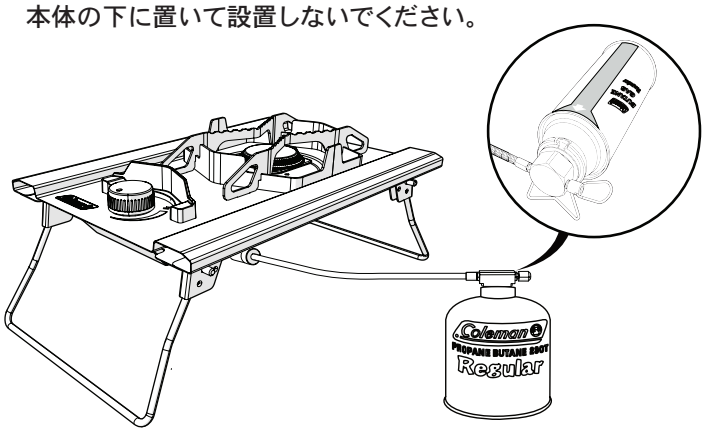
3.ガスカートリッジを水平にし、ガスカートリッジを垂直に反時計回りに回して取り付けます。完全に止まるまで確実にねじ込んでください。



⚠ 注意

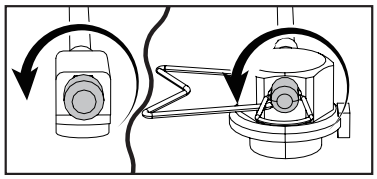
- 締め付けすぎると、破損する可能性がありますので、ご注意ください。

4.平らな場所において使用してください。またガスカートリッジを本体の下に置いて設置しないでください。



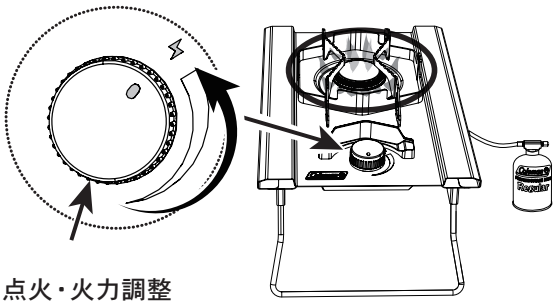
点火の方法　必ず屋外の火の気のない所で操作してください。

1.アウトドアボンベ用/カセットボンベ用バルブを反時計回りに回してガスを出します。



2.ガスホースとバルブのすべての接続部から漏れがないか確認します。LPガスの臭いがないか確認してください。(禁煙、火気厳禁)漏れが直るまで、機器を使用しないでください。

3.点火・火力調整ツマミを半反時計回りにカチっとなるところまで回し点火します。一度で点火しない場合は点火作業を繰り返し、確実に点火したことを確認してください。



点火・火力調整
ツマミと点火機能

⚠ 注意

- ガスの勢いが強すぎたり、気温、風、湿度等の自然条件により点火がうまくいかない場合があります。この様な時はマッチ、ライター等で点火してください。
- 点火しないまま器具栓ツマミを開いた状態にしておくと、ガス漏れのおそれがあり危険です。使用しない場合は、器具栓ツマミを時計回りに止まるまで回して閉めてください。点火操作後は、必ず着火したことを確認してください。
- 炎は上に上がるので、点火操作をするときは、器具の上にかがみこまないでください。
- 一度で点火しない場合は、左記、点火作業を繰り返し、確実に着火したことを確認してください。
- 点火操作は、本体を水平な場所に置いて行ってください。
- 本体を傾けて点火しないでください。
- 冷えたカートリッジ（容器）は使用しないでください。
- 点火の際に器具栓ツマミを回す速度が速すぎるとガスの供給が追い付かず点火できない場合があります。

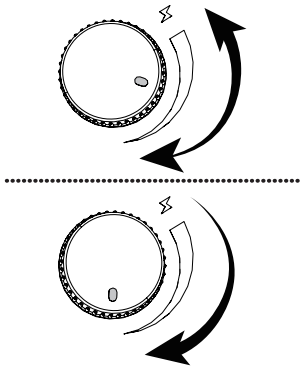
火力の調節と消火　必ず屋外の火の気のない所で操作してください。

〈火力の調節〉

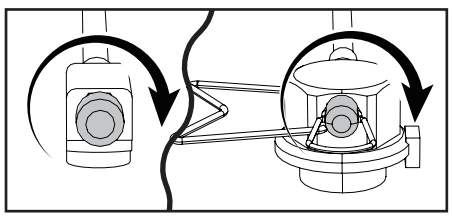
反時計回りに器具栓ツマミを回すと火力が強くなり、時計回りの方向で弱くなります。

〈消火〉

1.時計回りの方向に回らなくなるまで回し、消火している事を確認してください。



2.アウトドアボンベ用/カセットボンベ用バルブを時計回りに止まるまで回して締めます。



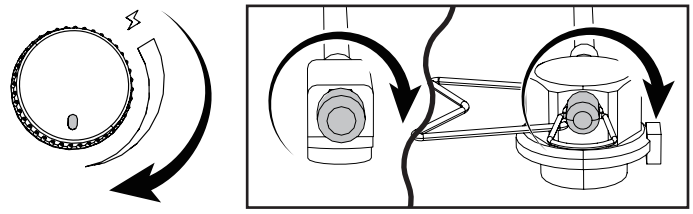
⚠ 注意

- 器具栓ツマミを急激に回すと、炎が消えることがありますので、ご注意ください。
- 炎を小さくすると風などで消えることがありますので、ご注意ください。
- 使用中は、時々正常に燃焼しているか確認してください。
- 消火は、器具栓ツマミを時計回りに止まるまで回してください。火が消えていても、止まるまで回していないとガス漏れをおこすおそれがあります。
- 使用中及び使用直後は本体が非常に熱くなっています。火力調節及び消火のときは、十分注意してください。

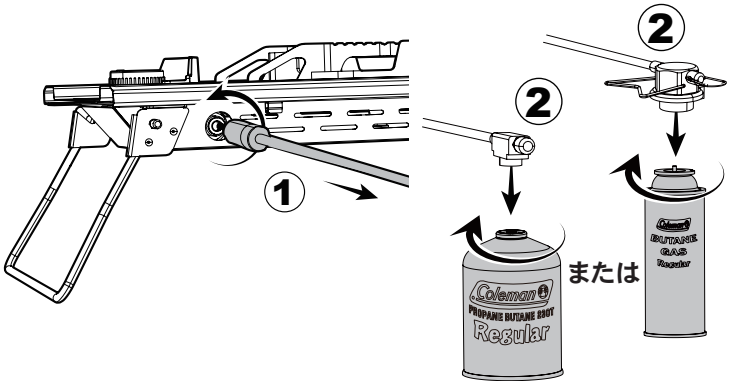
収納

必ず本体が完全に冷えてから作業を行ってください。

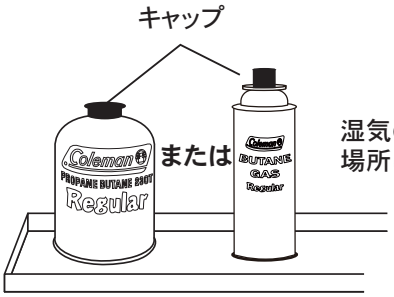
1.器具栓ツマミを時計回りに止まるまで回っている事を確認してください。アウトドアボンベ用/カセットボンベ用バルブも時計回りに止まるまで回っている事を確認してください。



2.ホースナットを反時計回りに回して外し、ガスカートリッジを垂直に時計回りに回して外します。



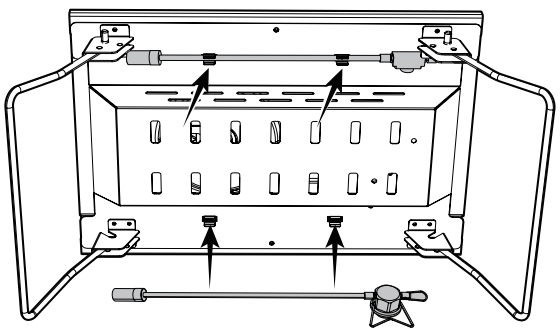
3.ガスカートリッジ（容器）は、側面に書いてある注意を参考に低温・低湿の場所にキャップをして保管してください。



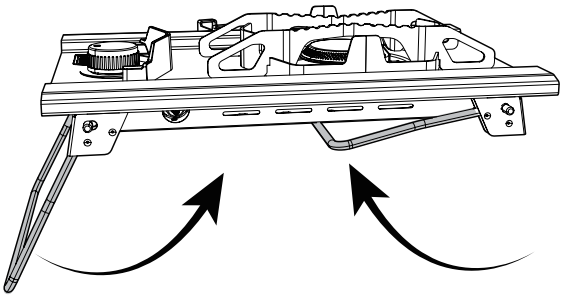
⚠ 注意

- ガスカートリッジ（容器）は、必ず容器キャップをはめて風通しの良い湿気の少ない40℃以下の場所に保管してください。
- 幼児・子どもの手の届かない所に保管してください。

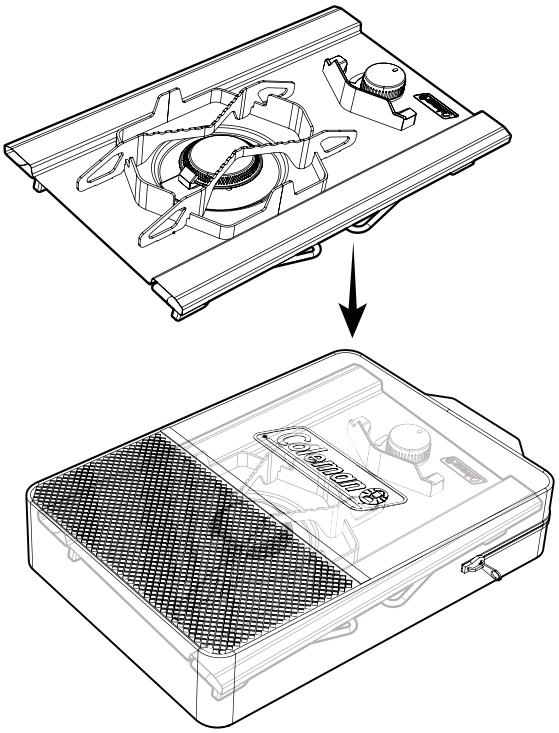
4.ストーブ底部にガスホース2本を固定できます。



5.スタンドは裏面に押すようにして折りたたみます。



6.乾いた布でふいて、湿気のない場所に保管してください。



- 収納後は、持ち運びも簡単です。

日常の点検・お手入れの方法

- ご使用後は、そのつど必ずお手入れをしてください。
- 点検・お手入れは、必ずガスカートリッジ（容器）を取り外して、バーナーが十分冷えてから行ってください。
- 故障または破損したと思われるものは、使用しないでください。ご家庭での修理は危険ですので、お買い求めの販売店に保証書を添えて点検、修理をご依頼ください。

点検とお手入れのポイント

本　体	バーナーおよびその周辺	汁受皿・グレート（ごとく）
● 台所用合成洗剤（食器用・調理器具用）をしみこませた布で汚れを十分にとった後、お湯でしぼったきれいな布で、もう一度ふいてください。 ※シンナー、ベンジン、みがき粉、ナイロンタワシ、金属性のタワシなど、傷がつきやすいものは使用しないでください。 ※本体の丸洗いは絶対にしないでください。	● バーナーが穴づまりをおこすと、不完全燃焼をおこし危険です。穴がつまって炎が不ぞろいになったときや汚れがひどいときは、金属ブラシや千枚通しなどで掃除してください。電極部の汚れは、点火不良の原因になります。乾いた布でふき取ってください。（このとき、電極部の位置を動かさないようにしてください。）	● 汁受皿・ごとくを煮汁や油で汚れたままにしておくと、腐食を早めます。ご使用のつど、乾いた布でふいてください。汚れがひどいときは、台所用合成洗剤（食器用・調理器具用）を適量使用し、汚れを落とした後、水気の残らないよう乾いた布でふきとってください。

長時間使用しないとき

1.ガスカートリッジ（容器）をバーナーから必ず取り外してください。
2.汁受皿、本体などが汚れていないか、よく乾いているかを確認してください。
3.こんろの各部が十分冷えてから、湿気の少ない所に保管してください。
4.ガスカートリッジ（容器）は、容器キャップをつけ、風通しの良い、湿気の少ない40℃以下の場所に保管してください。
※長期間ガスカートリッジ（容器）を保管していたり、保管状態が悪いとサビが発生し、ガス漏れの原因となることがあります。ときどき点検してください。ガスカートリッジ（容器）は古いものから使用し、早めに使いきってください。

故障・異常の見分け方と処理の方法

- LPガスの性質上気温が低い場合やガスカートリッジ（容器）が冷えた場合には炎が小さくなることがありますが、器具の異常ではありません。
- 連続使用（30分以上）した場合、炎が小さくなることがありますが、異常ではありません。

原因 ＼ 現象	専用ガスカートリッジ（容器）を使用していない。	専用ガスカートリッジ（容器）内の残ガスが少ない。	バーナー炎口部の目づまり汚れ。	ノズル部の目づまり。	点火操作が不適切。	器具栓の故障。
ガスカートリッジ（容器）が取り付けられない。	○					
点火しない（しにくい）。		○	○	○	○	
炎が安定しない。		○	○	○		○
火力が弱い。		○	○	○		○
消火しない。						○
処置方法	コールマンTタイプ専用容器を使用する。	新しいものと交換する。	目づまりをとる。点検修理を依頼する。	点検修理を依頼する。	取扱説明書を読んでから再度行う。	点検修理を依頼する。

※以上の事項をご確認の上、それでも不具合な場合、あるいはご不明な点がある場合は、お買い上げの販売店に保証書を添えて点検・修理をご依頼ください。

アフターサービス

- お買い上げいただきました製品には万全を期しておりますが、万一不備な点がございましたらお買い上げの販売店、もしくは下記までご連絡ください。

Coleman
ニューウェルブランズ・ジャパン合同会社
〒108-0023
東京都港区芝浦 4-9-25 芝浦 スクエアビル
お問い合わせ先 0120-111-957

仕 様

品　　名	デュアルガスバーナーストーブ Model 2243003
外 形 寸 法	使用サイズ:約42.5x31.5x18cm 収納サイズ:約36x31x8cm
重　　量	約2.2kg（本体のみ）
使 用 容 器	LPガス（CB缶・OD缶）
点 火 方 式	圧電点火方式
ガス消費量	約2700Kcal (470g SUPER缶使用時） 約2000Kcal (250g CB缶使用時）
燃 焼 時 間	約2～4時間 (470g SUPER缶使用時） 約1～1.5時間 (250g CB缶使用時）

発売元：**ニューウェルブランズ・ジャパン合同会社**

〒108-0023 東京都港区芝浦4-9-25芝浦スクエアビル お問い合わせ先 0120-111-957
商品のお問合わせについては、上記へご連絡ください。

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体注意ラベル等の注意書きにしたがった正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、お買い上げの販売店、または当社が無料保証いたします。
2. 保証期間内でも、次の場合には有料修理となります。
   （イ） 本書のご提示がない場合。
   （ロ） 本書に、お買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合。
   （ハ） 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障、損傷。
   （ニ） お買い上げ後に、落とされた場合等による故障、損傷。
   （ホ） 火災、公害および地震、風水害、塩害その他天災地変など、外部に要因がある故障、損傷。
   （ヘ） 指定外の燃料使用による故障、損傷。
   （ト） 消耗品が損傷し取り替えを要する場合。
3. 保証期間経過後の有料修理は、お客様のご希望により、お買い上げの販売店または当社にお問い合わせください。
4. 本書は、日本国内においてのみ有効です。

コールマン製品保証書

お客様	ご芳名　　様 TEL
	ご住所
取扱販売店	店名・住所・電話番号
保証期間	お買い上げ日 年　月　日より **1年間**

本書は、本書記載内容にそって無料修理をお約束するものです。保証期間中に故障が発生した場合は、製品に本書を添え、お買い上げの販売店にご依頼ください。
お買い上げ年月日、販売店名などの記入もれがありますと無効になります。必ずご確認いただき、記入のない場合は、お買い上げの販売店にお申し出ください。また、お買い上げいただいた時のレシート、領収書を下に添付して保管ください。
ご転居、ご贈呈などでお買い上げの販売店に修理依頼できない場合は、最寄りのコールマン製品取扱店にご依頼ください。
本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

お買い上げレシート添付場所（お買い上げ年月日、販売店の証明がないと保証を受けられない場合がありますので、ご注意ください。）

NWL0001844599 (ECN0111075-B)


Coleman